

「令和5年度 国土交通省 新道路技術会議 優秀技術研究開発賞」を受賞

当社は、国土交通省の「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」課題として採択された「PC鋼材、定着具、鉄筋にステンレス鋼を用いた新たな高耐久プレストレストコンクリート構造の開発」に共同参画し、この程、同研究成果が高く評価され「令和5年度 新道路技術会議 優秀技術開発賞」を受賞いたしました。

本研究は内部鋼材のすべてにステンレス鋼を用いることにより、施工の良否に左右されず、いかなる環境条件であっても高い耐久性を保持したプレストレストコンクリート（PC）構造の開発・実用検討を目的とし、令和2年度より3年間にわたり、国立大学法人長岡技術科学大学（研究代表者 下村匠教授）、学校法人金沢工業大学、愛知製鋼株式会社、株式会社エスイー、オリエンタル白石株式会社、日鉄SGワイヤ株式会社の共同研究により実施したものです。

この表彰を受け、11月14日（火）には、国立大学法人長岡技術科学大学において記者会見が開催され、当社は愛知製鋼株式会社、株式会社エスイーとともに同席いたしました。

今後は、社会的ニーズが高まる質の高い道路インフラ等の実現に貢献すべく、実構造物への適用展開に向け、引き続き関係する皆様とともに課題解決や認知活動等を進めて参ります。



▲優秀技術開発賞の表彰盾



▲長岡技術科学大学における記者会見の様様

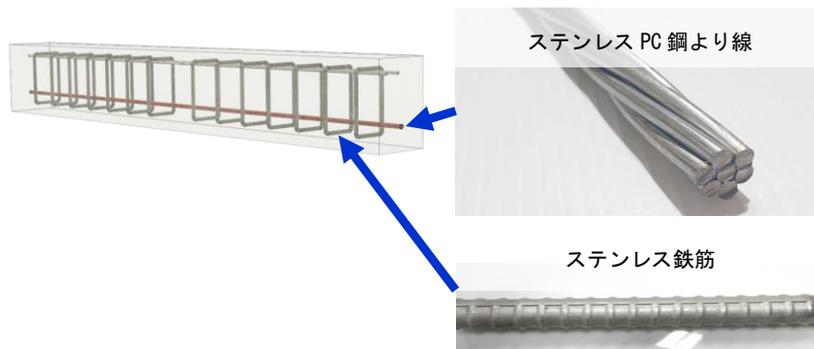
<国土交通省ウェブサイトおよび成果発表資料より転載>

■成果報告レポート

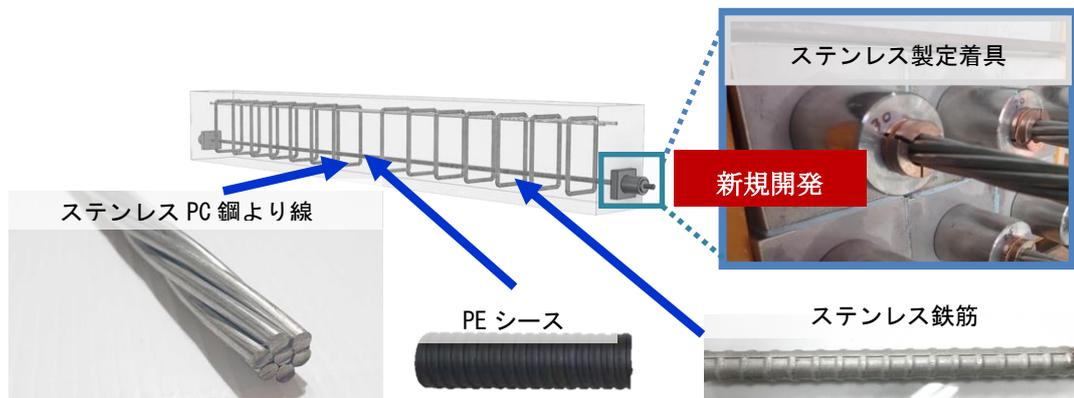
<https://www.mlit.go.jp/road/tech/jjgo/r05/pdf/report2020-8.pdf>

■新たな高耐久プレストレストコンクリート構造の概念図

プレテンション方式



ポストテンション方式



以上